

最近の雇用失業情勢（令和7年11月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.30倍（季調値）」（前月から0.02ポイント上昇）

[概況]

- 「雇用情勢は、改善の動きが弱まっている。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は前月から0.02ポイント上昇。

[基調判断]

- 《情勢維持》

[判断根拠]

- 有効求人倍率が上昇しているが、一時的な動きかも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数は建設業で増。公務・その他、宿泊業・飲食サービス業等で減。

[新規求人数]

当月：4,069人 公務・その他、宿泊業・飲食サービス業等の減員により－512人（前年同月 11.2%減）

- 「増」（対前年同月比）
【建設業】当月：511人 前年同月：+6人

[産業分類別]

- 「減」（対前年同月比）
 - 【公務・その他】当月：238人 前年同月：－96人
 - 【宿泊業・飲食サービス業】当月：269人 前年同月：－105人
 - 【運輸業・郵便業】当月：268人 前年同月：－86人
 - 【製造業】当月：347人 前年同月：－104人
 - 【サービス業】当月：420人 前年同月：－20人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.20倍 前年同月：－0.02P
 【米子所】当月：1.45倍 前年同月：－0.03P
 【倉吉所】当月：1.37倍 前年同月：+0.08P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.16倍（13か月連續で前年同月を上回る）
 →全国指標 1.02倍（4か月連續で前年同月を下回る）

[新規求職者数]

当月：1,468人（前年同月14.2%減）